

- ◆企画名 なんでも Q&A
日 程 平成 27 年 11 月 1 日 (日) ~ 11 月 4 日 (水)
場 所 総合学生会館凜風館 1 階 屋外ブース
参加者数 11 名 (ピア・サポーター 9 名、研修生 2 名)
目 的

学園祭期間中の学内は普段とは異なるため、目的の展示や模擬店に辿りつくまでに道に迷うことや、普段は利用しない学内施設を利用する必要に迫られることもある。一方、学園祭期間中に困っている学生のサポートを行う施設は少ない。こういった学生に対して、同じ学生の立場からのサポートまたは適切な場所への橋渡しをする必要があると考えた。

本事業では、学園祭の実施期間中に何か困ったことが起こった学生をサポートすること、屋外に出て学生を支援する活動を通し、KU サポーターズの周知を目的とした。

内 容

本事業では、凜風館 1 階屋外にブースを設置し、ピアジャンパーと腕章を着用した KU サポーターズのメンバーが、常時 2 名以上でブースに待機し対応した。学内で困っている一般学生に対して、道案内やイベントの時間などの質問を受け、回答した。その際こちらから声掛けはせず、一般学生の方から声をかけていただいた場合のみ対応した。構内の学舎の位置や企画や模擬店、トイレの場所を尋ねる例が多かった。その場合はパンフレットを用いて口頭案内を行ったり、口頭だけでは分かりにくい場所へは、直接道案内を行った。利用者は関大生よりも一般の方が多かった。

効 果

ブース内の雰囲気がよく、困っている方には気軽に声をかけてもらえた。口頭での説明や直接案内することで利用者の困難を取り除けたと思われる。事前の知識不足などがあつたものの、インターネットを活用し多くの質問に答えることができたため、疑問を残すことなく学園祭を楽しんでもらえたと感じた。

改 善 点

- ・看板が新歓用のものだったため、学園祭用のものを新しく作っておく。
- ・様々な質問に答えられるよう、過去のデータを参考に事前に確認し知識を共有しておく。
- ・わかりやすく説明するために対応方法についてマニュアルを作るなど、メンバー間で共有しておく。

感 想

今回の「なんでも Q&A」の利用は、188 件 340 名と前回 2013 年度開催の 464 件を大きく下回った。その中で 144 件 257 名が学生ではなく一般の方であった (75%以上)。関西大学ピア・コミュニティ、KU サポーターズは関大生に向けたサポートを目的としているため、今回の企画はあまり有意義なものでなかったように思われる。来年度以降も実施するのであれば、このことをしっかり議論した上で実施したい。

しかし、利用者数は減少したものの参加したメンバーは多く、外部との関わりだけでなく内部の関係もより良好になったのではないだろうか。その意味でも次回からの企画も多くのメンバーが参加できるようにしたい。